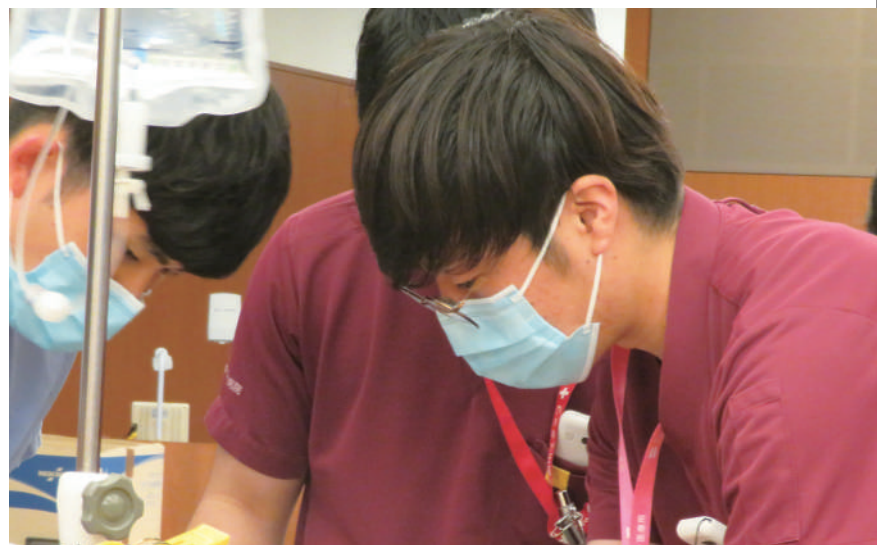




Japanese
Red Cross
Tokushima



徳島赤十字病院

初期臨床研修プログラム

2024

MESSAGE



研修管理委員長

院長 後藤 哲也

当院の研修プログラムは、研修医からの提案を取り入れて常に進化しています。ここ数年では、まず、外科系のローテイトを調整し、個々の研修医の希望に沿ってオンコールの負担を軽減しつつ、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、乳腺外科などを選択しやすいように改訂しました。内科系の研修においては、腎臓内科（透析科も含む）、脳神経内科などを必修である内科のローテイト期間内に回ることが可能になりました。また、人気の救急科は、軽症から最重症まですべての患者さんを受け入れる北米型ERである高度救命救急センター（救急搬送数は年間約5,000件）、そしてICU/救命救急病棟が研修の場です。救急専門・専従の医師8名の指導体制で、多職種参加のウォーキングカンファレンスや毎日の振り返り・フィードバックで実践力をつけていただきます。

当院は病床数405床とコンパクトな総合病院ですので、各診療科の垣根が低くコンサルテーションが容易であり、また、看護師をはじめ全てのメディカルスタッフの士気が高く非常に仕事がやりやすいことが特徴です。一方、高い病床利用率と短い平均在院日数により、600床以上の病院に匹敵する新入院患者数がありますので、優秀なスタッフに守られながら数多くの症例を経験できます。研修プログラムでは、必須科目に加えて心エコー・内視鏡などの手技に特化した選択科目や、病理、災害医療救護などユニークな研修を自由に選択することができます。剖検数も多く、CPC/RCPCが充実しているのも当院の強みです。

2017年秋に完成した西棟には、スキルスラボを設置し各種手技の講習会や自習が活発に行われています。そして初期研修医の皆さんが快適に過ごせる空間をコンセプトに研修医医局も移転拡充しました。このように充実した徳島赤十字病院の研修システムは、すべて皆さんのためにあり、ご自身の成長を確かなものとするための大きな支えになると確信しています。

2020年4月から、初期研修プログラムの内科・外科・救急科・地域医療に加えて、小児科・産婦人科・精神科が必修となりました。医師臨床研修指導ガイドラインでは、経験すべき徴候・症候や疾病・病態が事細かく記載され、2年間の研修期間中に全て経験するように求められています。そのため、指導医のアドバイスや研修医の希望を参考に新しい研修プログラムを作成しました。

必修内科の各研修期間を少しずつ短縮し、新しくできた4週間に、自由に選択できる診療科を新設しました。循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科に加えて腎臓内科（透析）、脳神経内科のいずれかを選択できます。外科では、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科に加えて泌尿器科、乳腺外科、血管内治療科、眼科、耳鼻咽喉科も選択できるようになりました。それに加え研修1年目の後半には、自分が専門としたい診療科への研修も行えるよう、プログラムを変更しています。今まで以上に研修医の希望に沿った初期研修プログラムになったと確信しています。

また、4週間を超える研修を行う診療科では、少なくとも1日の有給休暇が取得出来るようにしています。多くのことを学びながら、リフレッシュのための休暇を活用し、有意義で満足のいく研修ができるように病院全体でサポートしていきます。是非、徳島赤十字病院で初期研修を、そして医師としてスタートをきってください。



プログラム責任者

副院長 別宮 史朗

病院概要

私たちは断らない医療を実践し、みなさまの健康と尊厳をお守りします。

基本方針

1. いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先し、病める人々とそのご家族の健康と尊厳をお守りします。
1. 医療安全を第一に、質の高い先進医療を提供します。
1. 高い専門性を希求しながらも、救急医療を原点としてとらえ、すべての患者さんを受入れます。
1. 地域の医療ネットワークを生かし、互いの力を結集し、安心して暮らせる社会づくりに貢献します。
1. 赤十字としての自主性を保ちながら、国内外の災害救護活動に積極的に取り組みます。
1. 教育研修を推進し、将来を担う人間性豊かな医療人を育成します。
1. 相互扶助を組織の文化として、人にやさしく働きがいのある病院を目指します。

これらの品質方針に適合した病院運営を行う為に、品質マネジメントシステムの有効性を検証し、継続的に改善していきます。

研修理念

徳島赤十字病院は医師としての人格を涵養し医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ将来専門とする分野にかかわらず幅広い臨床能力（知識・技術・態度・総合判断力等）を身につけ、チーム医療の一員としてその役割を理解しチームメンバーと協力しながら全人的態度で医療を提供できる医師を全職員で守り育てます。

2021年度実績

新入院患者数（1日あたり）	40.0人
在院患者数（1日あたり）	329.9人
平均在院日数	8.3日
病床稼働率	91.3%
外来患者数（1日あたり）	730.4人
新患者数（1日あたり）	102.9人
初診の紹介率	94.6%
救急患者数	14,007人 （うち、救急搬送5,091人）
手術件数（手術室稼働件数）	5,750件 （入院5,186件、外来564件）

特殊機能

基幹型臨床研修指定病院
地域医療支援病院
高度救命救急センター
地域がん診療連携拠点病院
地域災害医療センター
地域周産期母子医療センター
へき地医療拠点病院
臓器提供施設
小児救急医療拠点病院
新型コロナウイルス感染症重点医療機関

病床数

一般405床（うちICU13床、救命21床、無菌17床）

職員数

1,149名（パート含む）

標榜診療科

内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、呼吸器内科、小児科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、消化器外科、精神科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、救急科

主な医療設備

手術支援ロボット、ハイブリッド手術室、PET-CT、ADCT（320列）、MDCT（64列）、MRI（3.0T、1.5T）、DSCT（128列）、アンギオ装置（バイブレイン）5台、放射線治療装置（リニアック）など

プログラムの概要

救命救急医療および地域医療支援の特殊機能を活かし、多くの急性期疾患と救急疾患の初期治療を行える能力を習得します。

□ 1年次 研修科目 □ 2年次 研修科目 □ 2年間の研修科目



★ 一般外来研修4週間 並行研修含む

- 内科※1** 24週間：内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科
4週間：上記に加えて腎臓内科（透析）、脳神経内科から選択
- 外科※2** 8週間：外科
4週間：乳腺外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、血管内治療科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科から選択
- 選択科※3** 内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科(透析)、脳神経内科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、血管内治療科、泌尿器科、小児科、形成外科、小児外科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、救急科、検査部

■プログラム例



協力施設

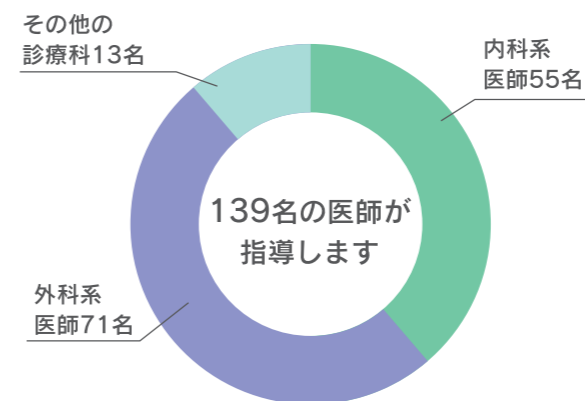
- 地域医療** 碩心館病院、ホウエツ病院、近藤内科病院、江藤病院、木頭診療所、上那賀病院、勝浦病院、海南病院、美波病院、金磯病院
- 精神科** 城南病院、藍里病院、TAOKA こころの医療センター、徳島大学病院（精神科）
- 地域保健** 徳島保健所、吉野川保健所、阿南保健所
- 選択科** 旭川赤十字病院(脳神経外科)、大阪赤十字病院(呼吸器内科)、松山赤十字病院(消化器内科)、徳島大学病院(呼吸器・膠原病内科、消化器内科、血液・内分泌代謝内科)、川島病院(腎臓内科)、亀井病院(緩和医療)、南徳島クリニック(内科)、博愛記念病院(内科)、小松島病院(内科)、徳島赤十字ひのみね医療療育センター(小児科)



教育体制

01 充実した指導体制

当院では、common diseaseを中心として、多岐にわたる疾患を経験することができます。それぞれの科に指導医も多く在籍しているため、各科をバランスよく学ぶことができます。また、屋根互方針を基本にマンツーマン要素を取り入れており、若手医師の層も厚くコンサルトしやすい環境です。



- ★プログラム責任者講習会修了者数 7名
 - ★指導医数 107名 (7年以上の臨床経験を持つ医師)
 - うち臨床研修指導医養成講習会修了者数 74名
- 2022年4月1日現在

02 県内トップクラスの手術件数、最新の医療技術

総手術件数や全身麻酔件数は徳島県でトップクラスの件数を誇ります。【2020年度実績では、全身麻酔件数（100床あたり）全国5位（300床以上のDPC導入病院を対象）】また、四国初となる経皮的左心耳閉鎖術（WATCHMAN）をはじめとした最先端の医療技術を推進しています。

- 総手術件数 5,750 件
- 全身麻酔件数 4,272 件
- 消化管内視鏡検査・手術等 10,031 件
- 心臓カテーテル検査・治療等 3,743 件

03 ER研修

当院は、高度救命救急センターでありながら、県内の救急患者を1次から3次まですべてに対応します。そのため内科系・外科系を問わず、数多くの症例を経験でき、実践力を身につけながら着実にレベルアップを図ることができます。ドクターカーは、平日9～18時、土曜日9～17時で運行しており、希望があれば同乗し、病院前救急診療の研修も経験できます。

- 救急搬送受入件数 5,091 件
- ドクターカー出動件数 612 件
- ドクターヘリ受入件数 149 件

■スキルラボ・シミュレーション教育が充実

シミュレーターなどを用いて医療技術の習得を図るための施設「スキルラボ」が、24時間いつでも使用できます。救命救急処置並びに外科的処置など様々なトレーニングを行うことが可能、ICLS,ACLS,BLSなども行われます。



- 腰椎・硬膜外穿刺シミュレーター
- 内視鏡外科手術用トレーニングボックス
- CVC穿刺挿入シミュレーター
- マイクロ手術練習用実体顕微鏡
- 関節鏡視下手術シミュレーター(肩・膝)
- 超音波診断装置 等があります。

研修医 VOICE

～恵まれた環境で憧れの仕事を～



研修医1年次
林 菜緒

当院は3次救急病院で、軽症から重症まで様々な症例を経験することが出来るのが1番の魅力だと思います。優しく指導熱心な先生方のもと研修を行うことができ、毎日充実した日々を送っています。指導医の先生方や2年目の研修医の先生によるレクチャー・勉強会など学ぶ場も多く、成長できる環境が整っていると実感します。

また、忙しい研修ではありますが、研修医同士の仲が良く、お互い助け合いながら研修を乗り越えることができ、メディカルスタッフや事務の方々もしっかり研修をサポートして下さいます。是非当院で一緒に切磋琢磨しながら、充実した初期研修を行いましょ。

当院を志望される皆さんは、少なからず三次救急病院であることへの魅力を感じているのではないのでしょうか。

当院は高度救命救急センターとして24時間365日、傷病者の重症度に関わらず救急搬送患者の受け入れを行っています。ERでの業務は、急変対応のみならず、身体診察、適切な検査オーダー、検査結果の解釈、読影、コンサルト、ムンテラ、時には死亡確認に至るまで、医師として必須となる多くのことを学べる素晴らしい機会です。

勿論、体力的・精神的にきついこともあり、私も自分の至らなさを感じる毎日ですが、優しく指導熱心な先生方と、素晴らしい同期、支えてくださる皆さんのおかげで、充実した研修を送ることができています。

この素晴らしい研修の場で、皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。



研修医2年次
寺澤 壮毅

専攻医 VOICE



内科専攻医1年目
小原 孝仁

断らない医療を理念に掲げている当院では、幅広く、多くの症例を日々経験することができます。日々の診療はすべてが新鮮で新しい発見で溢れています。時には壁にぶつかることもありますが、頼もしい同期・熱意のある指導医と共に乗り越えられました。研修医時代の経験は専攻医になった現在でも大きな力になっていると感じています。私は現在、循環器サブスペシャルティ重点型コースの内科専攻医として日々診療にあたっています。当院では初期研修後も専門医取得を目指して引き続き後期研修を行うことができます。一貫した研修により他科との連携もとりやすく、選択肢が増えることは大きな魅力の一つだと思います。また、症例数が豊富なため、学会発表などの機会も多くあり、学会発表を通して学んだことを臨床に還元することができます。徳島県南部に位置しますが、徳島で最も活気ある研修施設であると思います。私たちと一緒に医師としての一步を踏み出しませんか。

年間行事

annual events

4

April

辞令交付式

新人歓迎会

研修医・研修看護師合同技術研修

日本赤十字社徳島県支部救護班要員研修会

病院祭



5

May

生活習慣セミナー「健康ウォーキング」

6

June

トリアージ研修（実技）

院内災害医療訓練



7

July

医学部6年生に対する卒後臨床研修説明会

サマーパーティー

8

August

SUMMER臨床研修説明会

研修医同窓会

阿波踊り



10

October

日本赤十字社医学会総会

全国赤十字病院スポーツ大会

11

November

四国地区赤十字病院スポーツ大会

12

December

本社研修

忘年会

3

March

研修修了式



基幹施設として3領域の研修プログラムを用意しています。

当院は、病院理念である“断らない医療”に基づき、県下で最も多くの重症救急患者を受け入れていますので、症例数が非常に豊富であることは論を俟ちません。さらに、トップクラスの技術と見識を持った指導医が熱心に指導する伝統があり、それを組織がハイブリッド手術室やラピッドレスポンスカーなどの先進医療体制を整備して支えています。

私たちは、専攻医の皆さんが充実した研修の時を過ごしていただけるよう、全力でサポートすることを約束します。

内科

将来の消化器、循環器、糖尿病、血液等のサブスペシャリティに繋がる一般型コースに加え、当院の特徴を活かした循環器サブスペシャリティ重点型コースがあります。

整形外科

『地域医療に貢献できる幅広い知識と視野を持った整形外科医師』を到達目標としており、多くの救急外傷症例の他に、関節外科、スポーツ、脊椎、肩関節の症例を経験豊富な指導医のもと数多く研修できます。

救急科

「救急現場・蘇生・集中治療に特化するだけでなく、退院後の患者の生活を見据えて診療・病棟管理ができる救急医」を育成するためのプログラムです。ラピッドレスポンスカーを用いた病院前救急診療、ER診療、各診療科と協力して行う集中治療や一般病棟管理など、入院から退院まで一貫した診療を行います。提携している他県の救命センターで、短期研修を行うことも可能です。

修了後の進路

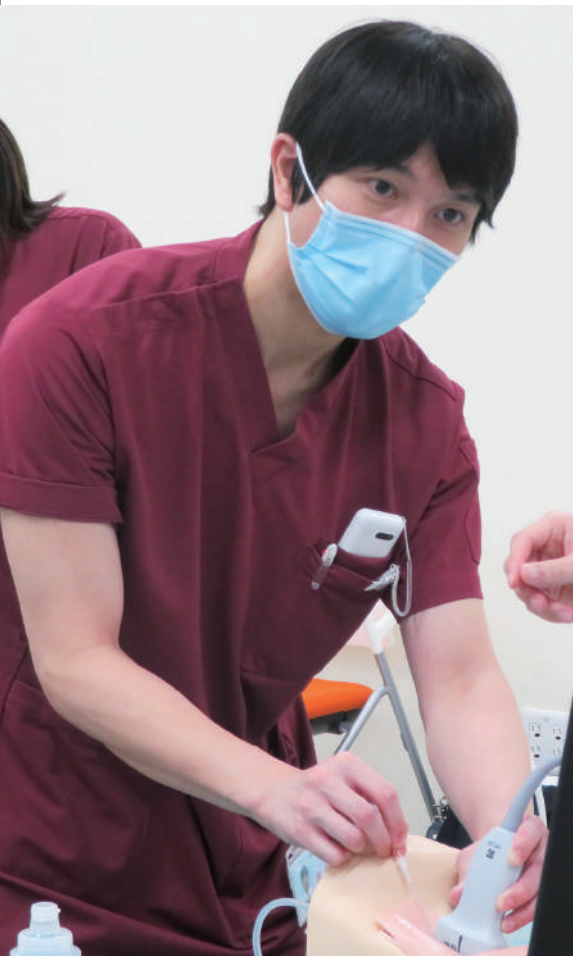
2022年3月 研修修了者	2021年3月 研修修了者	2020年3月 研修修了者
徳島大学病院 8名 静岡県立総合病院 1名 亀田総合病院 1名 徳島赤十字病院 2名	徳島大学病院 6名 徳島赤十字病院 3名	徳島大学病院 6名 産業医科大学病院 1名 徳島赤十字病院 3名
2019年3月 研修修了者	2018年3月 研修修了者	2017年3月 研修修了者
徳島大学病院 4名 大阪府済生会千里病院 1名 大阪府済生会野江病院 1名 徳島赤十字病院 5名	徳島大学病院 10名 徳島赤十字病院 2名	徳島大学病院 7名 亀田総合病院 1名 徳島赤十字病院 4名

- 募集定員 1年次 12名程度
- 身分 研修医（常勤嘱託職員）
- 給与

	月収	賞与	年収	※月収に含まれるもの
1年次	約47万円	約36万円	約588万円	宿日直手当（21,000円/1回）
2年次	約49万円	約82万円	約658万円	住居手当、時間外手当（10時間相当分）
- 勤務時間 8時40分～17時10分（休憩45分）
- 休日 土曜日・日曜日・国民の祝日、5月1日（日本赤十字社創立記念日）、年末年始（12月29日～1月3日）
- 休暇 年次有給休暇 年間24日（夏休み3日含む）、特別有給休暇（結婚・忌引等）
- 社会保険 健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
- 福利厚生 健康診断（年2回）、各種予防接種、互助会（レクリエーション、サマーパーティ、忘年会等）、各種クラブ活動：野球、バレーボール、テニス、フットサル、バスケットボール等）院内保育園、日赤グループ保険、日赤積立年金、学会・研修会等への参加補助有り（規定による）
- 修了後の待遇 当院での専攻医を希望する者は選考の上、正規職員として採用します。
- 応募資格 2024年3月医師免許取得予定者
- 応募書類
 - ① 履歴書・個人票（当院HPよりダウンロード）
 - ② 成績証明書

※都道府県が設定した地域枠の奨学金を受給している場合は、その名称を履歴書に記載してください。
※封筒に「研修医採用試験応募書類在中」と朱書きしてください。
- 応募締切 2023年7月31日（月）必着
- 試験方法 小論文、面接
- 試験日 2023年8月18日（金）、または2023年8月22日（火）のいずれか希望日
- 合格発表 医師臨床研修マッチング結果に基づきます。





日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

徳島赤十字病院

〒773-8502

徳島県小松島市小松島町字井利ノ口 103 番

TEL : 0885-32-2555

FAX : 0885-32-6350

E-mail : kensyui3@tokushima-med.jrc.or.jp

<http://www.tokushima-med.jrc.or.jp>

Facebookでチェック 



病院見学

随時見学を受け付けています。
病院ホームページより希望の日時と
希望診療科をご連絡下さい。

当院WEBサイトの
「研修医」ページを
ご覧下さい。

